



# 第11回 非常時における事業者間ローミング等に関する検討会 MVNOタスクグループで提起された課題について

2024年3月1日  
株式会社インターネットイニシアティブ  
Ongoing Innovation

# 1. MVNOタスクグループについて

- 本タスクグループは「非常時における事業者間ローミング等に関する検討会」（以下「検討会」）の検討作業班（以下「作業班」）における以下の**フルMVNOに特化した課題検討**のために開催される運びとなった。
  - ・ なお、ライトMVNOについての課題検討も本タスクグループにて今後検討予定。
- **検討課題**（検討会資料10-5 p.7より抜粋）
  - ・ フルMVNOとMNOとの間のローミングの実現方法等
  - ・ フルMVNOの事業者間ローミングへの枠組みへの参加に向けた提案等
  - ・ その他、検討会または作業班から検討を求められた事業者間ローミングに関する事項
- **参加団体**
  - ・ MVNOとしては、主にHSS設備を国内で運用する事業者を対象としている。

非常時における事業者間  
ローミング等に関する検討会

MVNOタスクグループ

事業者間ローミング  
検討作業班

非常時における事業者間  
ローミング等に関する検討会  
拡大分科会

## 参加団体

MVNO	株式会社インターネットイニシアティブ※1
	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
	丸紅ネットワークソリューションズ株式会社
	株式会社ソラコム※2
作業班	TCA、NTTドコモ他 必要に応じて各WGからも参加
総務省	電気通信技術システム課

※1 タスクグループ リーダー

※2 第2回会合より参加

## 2. タスクグループ開催状況と議論内容

### ■ 開催状況

- 第1回 2023/11/28 (火) 10:10-11:00
- 第2回 2023/12/19 (金) 10:00-12:10
- 第3回 2024/02/01 (木) 13:30-14:30

### ■ 現時点での議論内容

- 作業班各WGの検討状況を踏まえ、**技術仕様要件WG**及び**端末検討WG**より検討成果に関する説明を受け、その内容については**質問管理表を通じてMVNO側で確認中**。
- 現在、国内では音声フルMVNOが存在せず、MVNO自身による緊急通報の提供がない（MNO設備での提供のみ）ことから、緊急通報については議論のスコープ外とする。

### ■ タスクグループメンバー

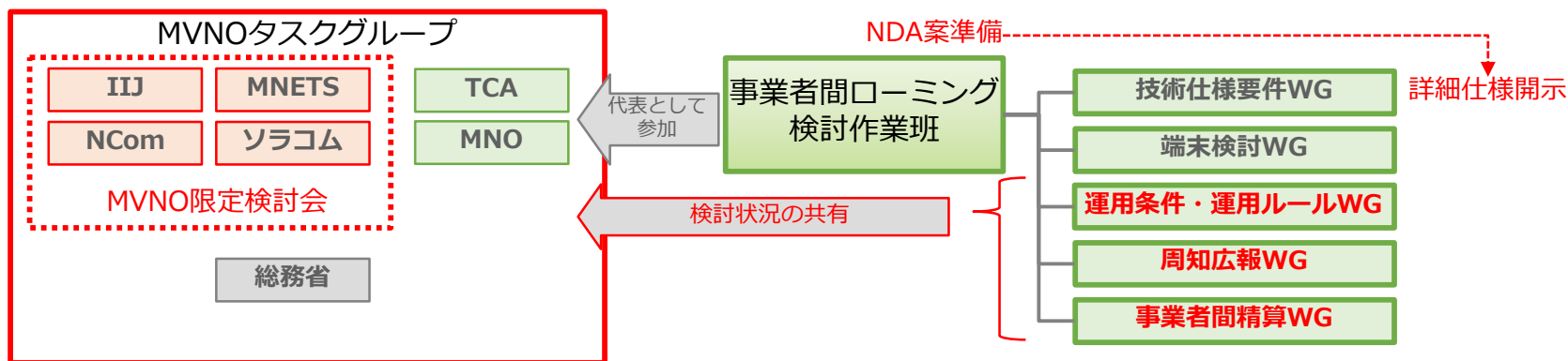
	氏名	所属
リーダー	佐々木 太志	株式会社インターネットイニシアティブ
	堀 優	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
	森山 史之	丸紅ネットワークソリューションズ株式会社
	高橋 範	ソラコム株式会社（第2回より参加）
	金子 純二	作業班 主査（一般社団法人電気通信事業者協会）
	竹内 宏司	作業班 副主査（株式会社NTTドコモ）
事務局	宮下 重博	株式会社インターネットイニシアティブ

※上記メンバーに加えて、MVNO各社からの陪席者や、MNO側作業班各WGメンバーも参加。

### 3. 現時点での検討上の課題について

- 以下の課題について、作業班と連携して対応中。

課題	対策・対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>MNO・フルMVNO間のNDA締結が完了しておらず、作業班側検討内容についても開示可能な概要レベルに留まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業班側で締結済NDAを参考に、フルMVNOも含めたNDAの締結に向け作業班側で準備中。</li> <li>締結後に、技術仕様要件WGからより詳細な仕様開示がなされる見込み。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>技術仕様要件WGより、接続構成案が提示されたが、救済時の運用ルールや精算等、MVNO側にも関係すると思われる内容が未開示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回以降で作業班より他WGの検討状況について共有される予定。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>フルMVNO間での設備構成等の違いが存在し、MNOとの協議に時間が掛かる可能性。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MVNO限定の会議体にて意見を取りまとめる。</li> </ul>



# (参考) ローミング発動時に救済されるフルMVNOサービス

- フルMVNO事業者が直接接続していないMNOでローミング発動する際に、技術仕様検討WGから、直接接続するMNOの設備経由での救済案を提示された。
  - 直接接続するMNOとの既存の相互接続点を經由する方式。
  - データフルMVNOのデータサービスの場合、フルローミング方式時のみ救済見込み。
  - ライトMVNOの音声サービスについては、MNO同様に救済見込み。

役務種別 (電話番号)		音声伝送役務 (070/080/090)		データ伝送役務 (020)		
主な端末設備		スマートフォン、フィーチャーフォン		タブレット、ルータ、IoT機器		
役務提供者		MNO	ライトMVNO	MNO	ライトMVNO	データフルMVNO
設備運用主体	HSS	MNO	MNO	MNO	MNO	MVNO
	IMS・音声コア	MNO	MNO	—	—	—
	データコア	MNO	MVNO	MNO	MVNO	MVNO
	RAN	MNO	MNO	MNO	MNO	MNO
提供サービスの救済時の	フルローミング方式	一般の通話 緊急通報 データ通信	一般の通話 緊急通報 データ通信	データ通信	データ通信	データ通信
	緊急通報のみ方式	緊急通報	緊急通報	救済対象外	救済対象外	救済対象外

凡例) 赤文字 … MNO設備  
青文字 … MVNO設備

## Lead Initiative

日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

---

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

Ongoing Innovation